未払消費税	20,682,200		
賞与引当金	209,240,830		
資産除去債務	14,768,989		
流動負債合計		19,195,564,594	
負債合計			34,561,553,511
純資産の部			
Ⅰ　資本金			
政府出資金	46,734,873,432		
資本金合計		46,734,873,432	
Ⅱ　資本剰余金			
資本剰余金	32,189,641,821		
減価償却相当累計額（－）㈱	－22,679,408,367		
減損損失相当累計額（－）㈱	－250,660,333		
利息費用相当累計額（－）㈱	－7,867		
除売却差額相当累計額（－）㈱	－3,166,192,467		
民間出えん金㈱	1,041,094,212		
資本剰余金合計		7,134,466,999	
Ⅲ　利益剰余金			
前中期目標期間繰越積立金㈱	11,962,164,586		
教育、研究、診療等積立金	232,261,202		
積立金	10,562,349,527		
当期未処分利益	384,201,127		
（うち当期総利益　384,201,127）			
利益剰余金合計		23,140,976,442	
Ⅳ　評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	－31,137,577		
評価・換算差額等合計		－31,137,577	
純資産合計			76,979,179,296
負債純資産合計			111,540,732,807

㈱　これらは、国立大学法人等固有の会計処理に伴う勘定科目です。

注記　１．本学が有している土地、建物の一部（23,908,545,366円）を大学改革支援・学位授与機構長期借入金（12,401,160,000円）の担保に供しております。

２．未収附属病院収入のうち903,180,438円が契約資産、4,717,237,709円が顧客との契約によって生じたものです。

３．期末における債務保証の総額は835,965,065円であります。

４．運営費交付金から充当されるべき退職一時金の当期末見積額は10,507,383,451円であります。

５．運営費交付金から充当されるべき賞与の当期末見積額は795,715,748円であります。

６．ＰＦＩによるサービス部分の対価の支払予定額は次のとおりです。

①　貸借対照表日後１年以内のＰＦＩ期間に係る未経過ＰＦＩ費用　23,018,518円

②　貸借対照表日後１年を超えるＰＦＩ期間に係る未経過ＰＦＩ費用　529,425,914円

なお、支払予定額は、物価変動に伴い改定されることがあります。

７．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは以下のとおりです。

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	41,464,788,363円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	30,409,619,806円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	11,055,168,557円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化累計額　1,142,293,053円

③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　26,886,032円

④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　653,276,272円

12,877,623,914円

損　益　計　算　書

（令和６年４月１日～令和７年３月31日）

（単位：円）

経常費用		
業務費		
教育経費		1,990,950,567
研究経費		3,086,504,802
診療経費		
材料費	12,999,298,804	
委託費	2,266,879,650	
設備関係費	3,903,672,740	
研修費	2,233,060	
経費	1,470,982,090	20,643,066,344
教育研究支援経費		302,200,324
受託研究費		1,415,209,330
共同研究費		605,317,503
受託事業費等		252,430,591
役員人件費		108,374,936